

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方法	● 研究の名称 新生児黄疸の季節・気象による変動に関する後ろ向き観察研究 ● 研究の対象 2010年4月～2019年3月に当院周産母子センターで出生された方 約5000名 ● 研究の目的 新生児黄疸は通常生理的な範囲にとどまりますが、生理的基準を超える場合があり、重度の場合は慢性ビリルビン脳症（核黄疸）を発症して神経学的後遺症の原因となりうるため、治療時期を逸しないためにも正確な評価が重要です。新生児黄疸による入院数に月別変動があり、四季の区別が明瞭なわが国では季節性変動が疑われます。海外では新生児黄疸には季節変動があるとの報告がみられますが、わが国では全く研究されていません。黄疸の評価に季節や気象の要因を考慮すべきか否かを知ることは、四季のあるわが国での病的黄疸の診断において重要と考えています。現在、赤ちゃんに対して血清ビリルビン値測定による病的黄疸のスクリーニングを行っていますが、過去に当院周産母子センターで出生された方の診療録（カルテ）の情報を収集して季節・気象因子との関連性を評価する研究を行うことといたしました。この研究は新生児黄疸に対する有効な診断方法の検討を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。 ● 研究の期間 2019年7月から2020年3月まで ● 他の機関に提供する場合には、その方法 該当なし
利用し、又は提供する試料・情報の項目	● 研究に使用する情報： 情報：性別、在胎週数、出生体重、分娩様式、栄養法、体重減少率、血清総ビリルビン値、ヘマトクリット値 等

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

利用する者の範囲	● 共同研究機関の名称及び研究責任者 該当なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	● 研究責任者 浜松医科大学 医学部地域周産期医療学講座 特任准教授 飯嶋重雄
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールをお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の対象者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 地域周産期医療学講座 担当者：飯嶋重雄 TEL： 053-435-2312 FAX：053-435-2311 E-mail：sijima@hama-med.ac.jp